

からは、町が実施している居宅介護支援事業所を社会福祉協議会に統合し、業務の効率化を図るとともに、地域包括支援センター業務を委託することにより、在宅高齢者に対する支援体制を一元化し、より一層の地域福祉を担うため、引き続き財政支援を要するが、連携強化を図るための支援についても推進してまいります。

高齢者事業団

高齢者事業団は、高齢者の能力や経験を生かし、仕事を通じて生きがいの充実や社会参加、健康づくりを図るといふ運営方針に沿った事業の継続のために、必要な経費を助成するとともに、適正な運営について指導してまいります。

子育て支援事業

子育て支援事業については、急速に進む少子化の中で、町内で子育てをする人が安心して楽しく子育てができる環境整備として、幾寅・金山保育所の運営をはじめ、地域子育て支援センター事業や一時保育事業、放課後児童クラブへの活動支援などの事業について、教育委員会の家庭教育支

援と連携し子育て支援を推進してまいります。また、老朽化が著しい児童クラブ室屋根の改修などを平成20年度の繰越事業として実施してまいります。

妊婦健診への助成

妊婦の方は、出産までに標準的な場合で14回の妊婦健診を医療機関で受ける必要がありますが、昨年からの健診費用の助成回数について2回を14回に増やして、全ての健診を対象としており、引き続き家庭の経済的な負担の軽減を図ってまいります。

障害者福祉

障害者福祉につきましては、障害者の日常生活を支援する介護訓練等給付、自立支援医療、補装具給付、地域生活支援事業などのサービスを提供してまいります。

また、社会福祉法人南富良野大乗会では、障害者自立支援法に基づき障害者の自立支援として、施設から地域生活への移行を機軸として、グループホームや就労支援事業所などの整備を行っており、障害のある方が地域で安心して暮らし続けるために、引き

続き支援してまいります。

平成8年度に知的障害者更正施設南富良野からまつ園増設に伴い建設資金として大乗会が福祉医療機構から借り入れた資金に対し、町が補給金として同年度から平成27年度までの債務負担として毎年度交付しておりますが、残債を本年度一括繰上げ償還し、後年度負担の軽減を図ってまいります。

国民健康保険事業

国民健康保険事業につきましては、生活習慣病予防対策として昨年度から開始しました特定健康診査、特定保健指



児童クラブ室で行われているおひさまキッズ

導の実施により、メタボリックシンドローム該当者や糖尿病等の生活習慣病有病者と予備群の減少に向けた取り組みを進め、医療費の適正化に努めてまいります。

いきいきの南富良野

次に、次代を築く子ども達の学力向上や生きる力を育む教育の実践とあらゆる世代の人が、それぞれのライフスタイルにあわせて楽しく学び楽しむ文化の町をめざす、いきいきの南富良野 学び楽しむ文化のまちづくりであります。

教育環境の充実

今日の社会は少子・高齢化経済・社会情勢の変化といった時代の大きな流れの中において、教育においても21世紀を切り開く心豊かでたくましい人材育成に向けた「教育基本法」やそれに伴う学校教育法が改正され、次代を担う子ども達の教育環境や、高齢者が生きがいのある充実した生活を送る学習環境づくりが、益々重要であることから、教育委員会の方針を尊重し、第4次総合計画の基本方針に沿

い、教育環境の充実に努めてまいります。

南富良野高校

南富良野高等学校では、地域性や時代の要請にこたえるべく、平成20年度から教育課程を変更し、生徒の学力・興味・関心・適応が時代と共に変化しているため、生徒にとつて付加価値の高い教育の実践を目指した、個性的で特色のある学校づくりに努めてまいります。

学校運営の基本であります就学生徒の維持確保のため、経済的支援の観点に立ち、平成21年度も引き続き、通学費・資格取得検定料に対する助成に必要な予算を計上いたしました。

国際交流派遣事業については、生徒を文化・生活習慣の異なるカナダへ派遣し、語学力の向上や国際感覚を広く身に付けてもらうために、本年度も引き続き、実施する必要予算を計上いたしました。

本校の特色でありますカヌー部は毎年全国高等学校総合体育大会や国体に出場しておりますが、大会に使用される競技艇の構造基準の変更に伴い、昨年度より順次更新し

ており、本年度はカヤックシングル2艇の購入する予算を計上いたしました。

学校給食センター広域連合へ移管

南富良野町学校給食センターは、平成21年4月から富良野広域連合へ移管となりますが、これまでと同様に「安心で安全な」給食を供給してまいります。

給食費の改定

また、給食費は、平成3年度の改定以来、完全米飯給食移行時に精白米代の加算のみに努めておりましたが、昨今の賄い材料費の高騰に対応するため給食費の改定をしてまいります。

学校の耐震2次診断の実施

学校の施設整備につきましては、町内7校の耐震化計画を策定する基礎とすることや学校の将来展望の検討を進めるため、平成21年度においては、幾寅小学校と南富良野中学校の2階建て校舎の耐震2次診断を実施する予算を計上いたしました。

教育関連施設の改修

町民体育館に併設し老朽化

が著しい旧南富良野高等学校校舎の取り壊し工事と町民体育館照明器具を固定式から昇降式に変更する改修工事並びに下水道区域外の教員住宅6棟9戸について、浄化槽を設置した水洗化工事を平成20年度の繰越事業として整備してまいります。

本部町との親善交流事業

沖縄県本部町との子ども達の交流は、平成21年度で19回を数えるまでになっており、この間の交流によって、子ども達は貴重な体験と見聞を広め、ホームステイによる家族同士や随行者間の交流にも発展しております。

平成8年の盟約調印で交わした両町の「友好の町」の絆を更に深めるため、引き続き町内児童の親善交流に必要な予算を計上いたしました。

千里大学

千里大学については、高齢化社会の中で、豊かで充実した生涯生活を過ごしていただくための一助として、学習や交流の場を提供するなど、引き続き取り組んでまいります。



学校給食の様子(幾寅小学校)

社会教育施設への指定管理者制度導入

公民館及び体育施設の管理については、指定管理者制度を引き続き導入し、民間活力による施設の効果的・効率的な管理運営に努めながら、地域管理について地域と話し合いを継続してまいります。

うるおいの南富良野

快適な生活環境のまちづくり次に、豊かな自然と調和する快適な生活環境の整備と生活安全の強化をめざす、うるおいの南富良野 快適な生活環境のまちづくりであります。

地域基盤の整備

町民の日常生活や地域経済、社会活動を支える重要な社会資本であります道路については、計画的な整備と適正な維持管理に努めてまいります。町道の整備については、幾寅越線凍雪害防止事業に伴う改良及び舗装工事を継続するための予算を計上いたしました。

道々の整備は、石勝高原線のJR幾寅踏切付近の用地買収と夕張新得線の雪崩柵防止工事、幾寅金山停車場線の村田橋耐震補修工事、落合停車場線の落合第1号橋耐震補修工事が予定されております。国道の整備については、懸案でありました、38号線三の山峠の登坂車線設置工事について、本年度は幾寅側の実施設計と併せて用地買収を行い、平成22・23年度の2カ年で工事を完成させ、引き続き平成24年度から富良野側に着手することになっております。また、237号線では、金山峠危険箇所対策工事及び大沢橋の耐震補修工事が予定されております。

町営バス

町営バスについては、町民の皆様の足として、引き続きスクールバスとの一体運行により行ってまいります。また、より効率的な運営を目指し運行時間などの検討をしてまいります。

公営住宅

公営住宅の整備については、住宅需要や老朽化など将来的な人口や世帯数を予測した中で策定した、公営住宅ストック総合活用計画に基づき、老朽化により入居者の移転が完了しております幾寅東団地7棟24戸の解体工事の予算を計上いたしました。

定住促進

マイホーム建設促進事業については、町内に住宅の建設を促進するとともに町外からの移住を推進し、定住者の拡大と地域振興を図ることを目的として、住宅を新築などした場合に経費の一部を助成する制度を平成20年7月に新たな制度としてスタートしたところであり、既に4名の方に利用いただいているところであります。